

国際グリーン購入ネットワーク

第4回 「倫理的購入・CSR調達ガイドライン」研究会

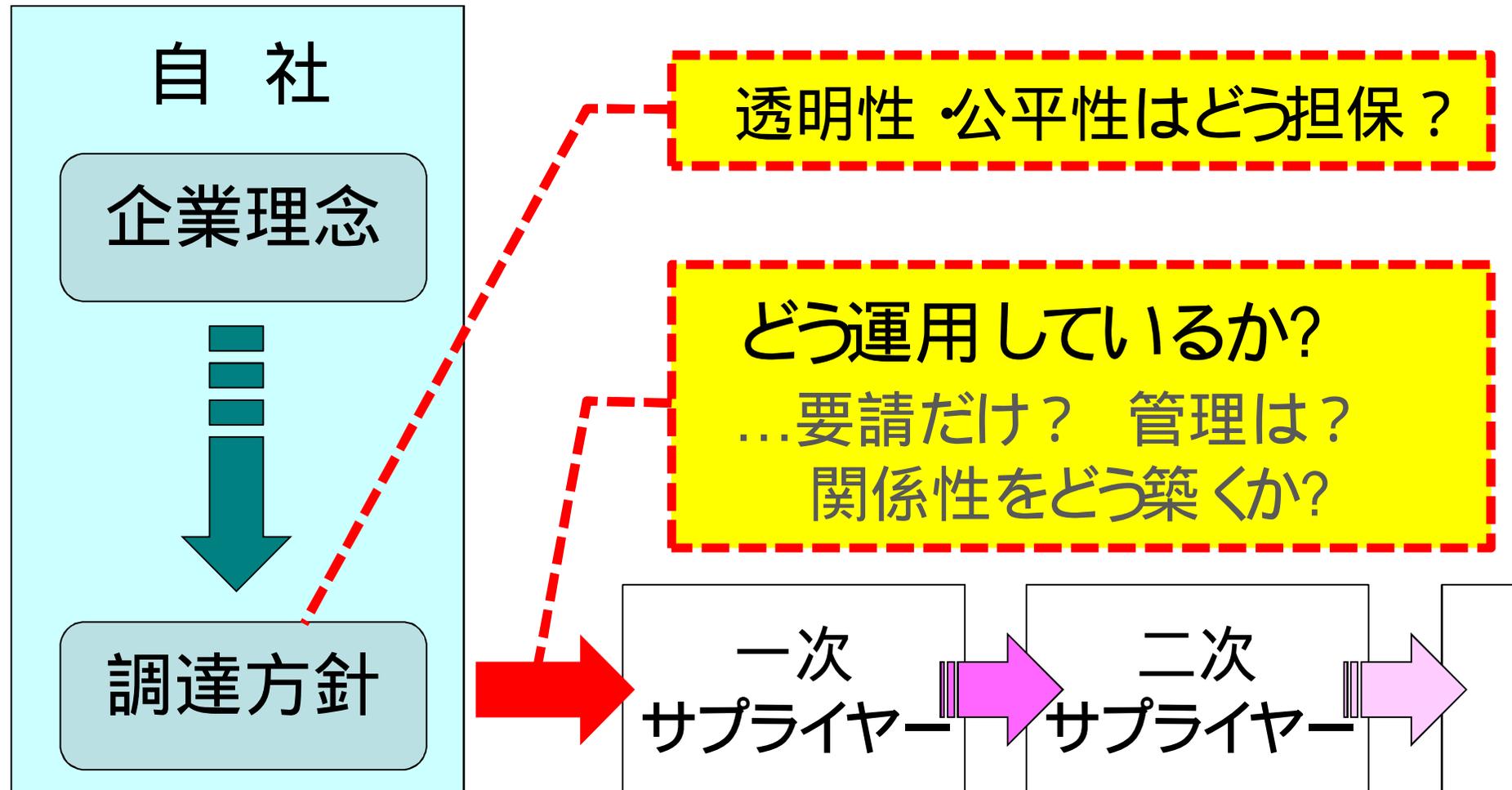
(1) 企業の事例紹介

積水ハウス株式会社

木材調達ガイドライン について



本業を通じた影響力の最大化」のために



「資源戦略」としての調達について

【ポイント】

サプライヤーとの関係性変化

...折衝・対立軸から、協創（コンサル）軸に

プロセス開示の重要性 と 顧客視点

...生活者の企業に対する見方は、
機能的パフォーマンスから、社会的パフォーマンスに

積水ハウスの「サステナブル宣言」

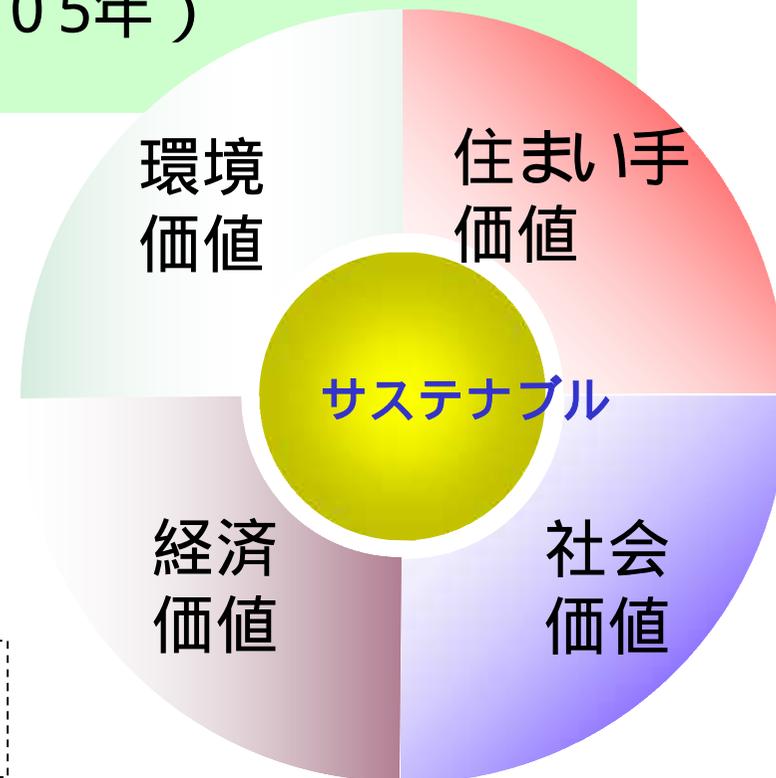
積水ハウスは持続可能な社会の実現に貢献するため、
「持続可能性」を企業活動の基軸に据え、
環境・社会・住まい手・経済のバランスを
考慮した経営を行います』 (2005年)

積水ハウス 4つの価値

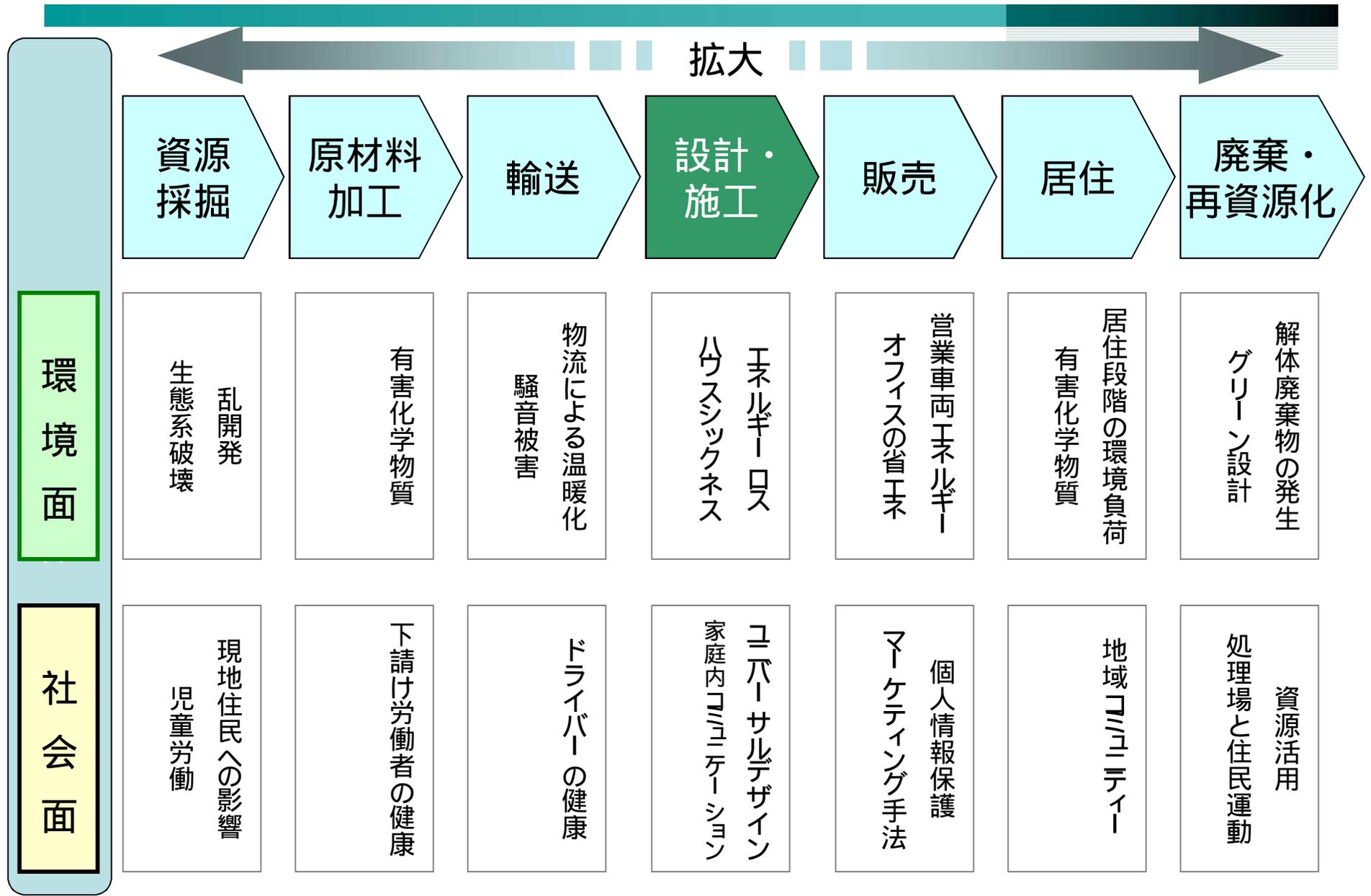
短期の経済効果だけを重視
するのではなく、4つの価値
をバランス良く考えた活動
が企業価値を高める

参考)

「サステナビリティレポート2012」 p.33 ~



建設業 サプライチェーン分析の一例

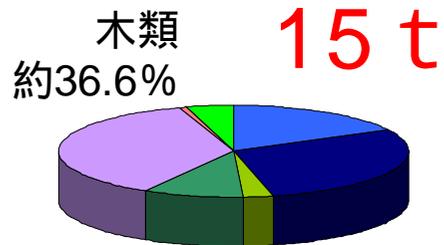


「木材調達ガイドライン」の運用



総量 約42t
 (約150m²の標準的な当社軽量鉄骨造住宅、建物のみ)

参考: シャーウッド
 (木質系)

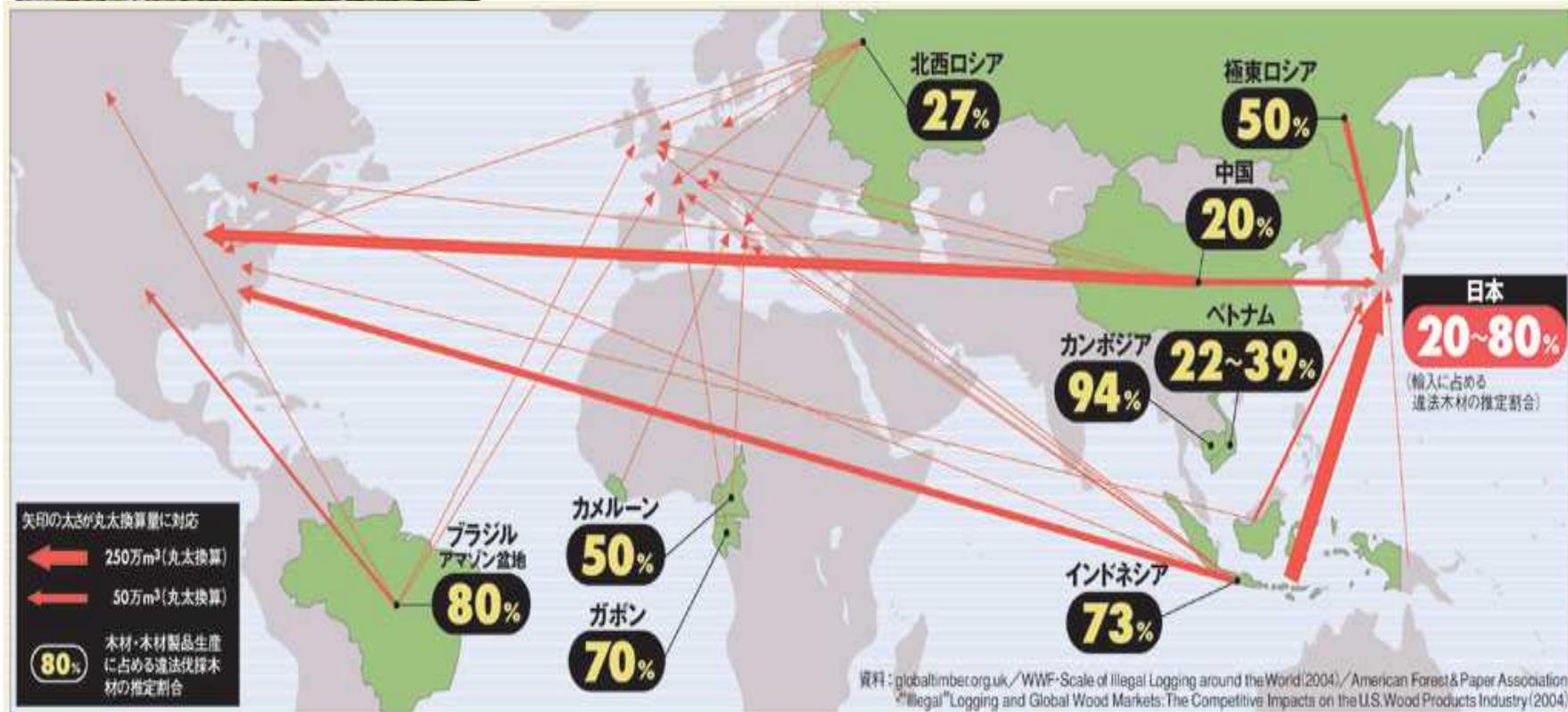


取引メーカー約3,000社の協力を得て
 1棟あたりの約6万点の部材で構成されています。

木材調達ガイドライン



世界68ヶ国に100万人のサポーターをもつ、国際環境NGO



(違法伐採の推定割合 FOE Japan資料より)

大規模皆伐された熱帯林 (サラワク州 マレーシア)

写真提供: 国際環境NGO FOE Japan





保護されたオランウータン (サラワク州 マレーシア)

写真提供: 国際環境NGO FOE Japan

A photograph of a tiger resting in a dense, sun-dappled forest. The tiger is lying on the forest floor, surrounded by green ferns and other vegetation. A large tree trunk is visible on the right side of the frame. The overall scene is a natural, wild habitat.

絶滅危惧種

シベリアンタイガー

(沿海地方 ロシア)

写真提供: 国際環境NGO FOE Japan

木材を総合評価し、改善につなげる



⋮

得点	違法伐採の可能性が高いと考えられる木材のその国の木材総輸出量に占める割合	地域
5点	10%未満	フィンランド、ニュージーランドなど
4点	10%以上	ラトビア、中国、ベトナム、日本など
3点	30%以上	ロシア欧州部、韓国、台湾、フィリピン、ベトナム、ラオスなど
2点	50%以上	ロシア極東、エストニア、カメルーン、赤道ギニア、ガーナ、など
1点	70%以上	ガボン、リベリア、インドネシア、カンボジア、ブラジル・アマゾン、など

+

得点	IUCN Red Databook 1994 Categories & Criteria (Ver2.3)	IUCN Red Databook Category (日本語)	樹種 (抜粋)
5点	LR/LC Low Risk/Least Concern	カテゴリー外	ウエスタンレッドシダー、ダグラスファーなど
4点	LR/CD&NT Low Risk/Conservation Dependent, Near Threat	準絶滅危惧	ヒノキ、スギ、センバシ、コシアなど
3点	VU Vulnerable	絶滅危惧やや高い	セブター、チーク、ウリン
2点	EN Endangered	絶滅危惧高い	ホワイトメランチなど
1点	CR Critically Endangered	絶滅危惧非常に高い	レッドラワン、イエローラワン、カガールなど

⋮

10の指針ごとに分析し、合計して、木材を評価

合計点 (最大43点)	調達ランク
34点以上	S
26点以上、34点未満	A
17点以上、26点未満	B
調達指針 が評価できない、もしくは17点未満	C

可視化し、マネジメント

中国に貨車で運ばれるロシア材 (黒龍江省 中国)



写真提供: 国際環境NGO FOE Japan



伐採企業に対する住民の抗議
(サラワク州 マレーシア)

サプライヤーの木材調査

ガイドライン策定に際し、**主要な木材取引扱いメーカー約60社**に対して、実態調査を実施（2005年度～ 継続実施）

【主な調査項目】

各設備の部材レベルで...

樹種

植林木か、その状況

原産地（地域＞国＞地区）

最終輸出国

認証材か CoC認証の有無

合法性証明の有無・種類 etc.



< 積水ハウス 木材調達ガイドライン (10の指針) >

違法伐採の可能性が低い地域から産出された木材

貴重な生態系が形成されている地域以外から産出された木材

地域の生態系を大きく破壊する、天然林の大伐採が行われている

地域以外から産出された木材

絶滅が危惧されている樹種以外の木材

消費地との距離がより近い地域から産出された木材

木材に関する紛争や対立がある地域以外から産出された木材

森林の回復速度を超えない計画的な伐採が行われている地域から

産出された木材

国産木材

自然生態系の保全や創出につながるような方法により植林された木材

木廃材を原料とした木質建材

< 現在、改訂作業中 >

形式的合法性に留まらず、実質的「持続可能性」を意図する。

... 木材の違法伐採による森林破壊等狭義の環境面だけでなく、「生態系の保全」や、違法伐採によってもたらされる「地元住民の暮らしや社会的な影響」まで、配慮した持続可能性の高い評価軸を保持。

(注)但し、全てを当社が自分で調査できるわけではないので、国連などの調査データやNGO専門家を介して情報を入手して効果的に活用している。

ガイドラインの客観性、透明性を確保する。

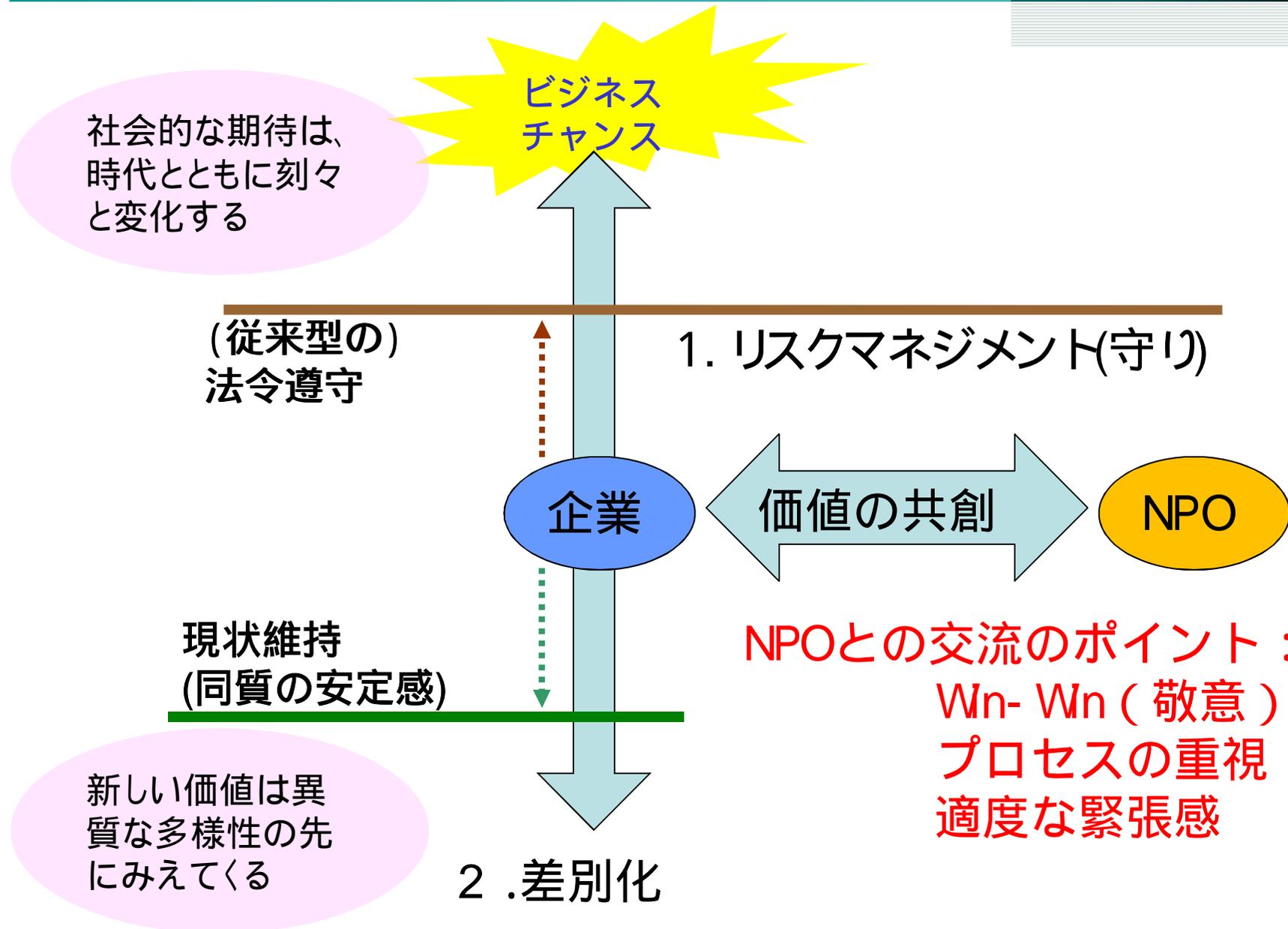
... 弊社の場合、第三者(木材についての環境NGO等)との情報交流を基に、世界標準の考え方をベースとした、客観的にもレベルの高い内容を目指した。

(注)但し、一気に最高峰を目指すわけではなく、調達のコストや安定性の要請を踏まえ、段階を踏んで調達水準を高めるための現実的な仕組みを配慮。

→ サプライヤーとの協働関係、啓発によるサプライチェーンへの影響力を意識

→ 木材についての環境NGOとの連携(FOE Japan)

変化への適応の感受性...アンテナ 先行指標としてのNPO評価



評価の一例：(絶滅危惧種)



調達指針 絶滅が危惧されている樹種以外の木材

得点	IUCN Red Databook 1994 Categories & Criteria (Ver2.3)	IUCN Red Databook Category (日本版)	樹種 (抜粋)
5点	LR/LC Low Risk/ Least Concern	カテゴリー外	ウエスタンレッドシダー、ダグラスファーなど
4点	LR/CD&NT Low Risk/ Conservation Dependent, Near Threat	準絶滅危惧	ヒノキ、スギ、センペルセコイアなど
3点	VU Vulnerable	絶滅危惧やや高い	セプター、チーク、ウリン
2点	EN Endangered	絶滅危惧高い	ホワイトメランチなど
1点	CR Critically Endangered	絶滅危惧非常に高い	レッドラワン、イエローラワン、カポールなど

認証材であれば+2点

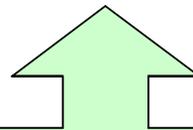
評価の一例：(社会性)



調達指針 木材に関する紛争や対立がない地域から産出された木材

得点	解 説
5点	当該樹種の伐採地では、過去10年間に地域社会・住民(先住民含む)との森林開発・伐採に係わる目立った紛争・対立が確認されていない。
3点	当該樹種の伐採地では、過去10年間に地域社会・住民(先住民含む)との紛争・対立が一部の地域で確認されている。
1点	当該樹種の伐採地では、過去10年間に地域社会・住民(先住民含む)との紛争・対立が多数の地域で確認されている。

認証材であれば+2点



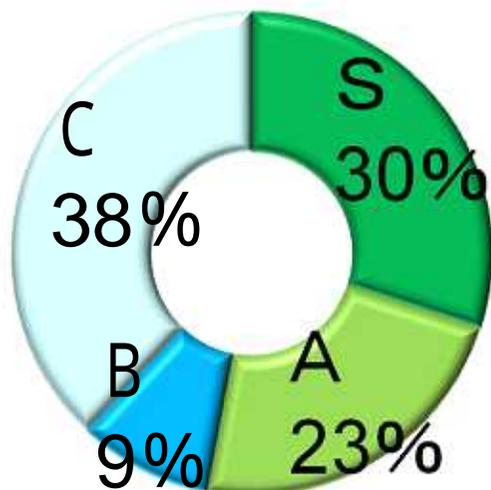
現実の問題として、調達過程における倫理的な課題や社会的なテーマは、紛争や対立の形で表出されて初めて企業が把握できることが多い。保全すべき概念を抽象的に標榜し羅列するだけでなく、時代の流れや価値観の変化に応じた現地の情報を認識することが重要である。これは確かに一企業では困難なことも多いので、当社の場合は、国際環境NGO FOE Japan及びそのネットワークの協力を得てこうした情報を捕捉し、調達に関する状況変化への対応や客観性の維持につとめている。

木材を総合評価し、サプライヤーと共有

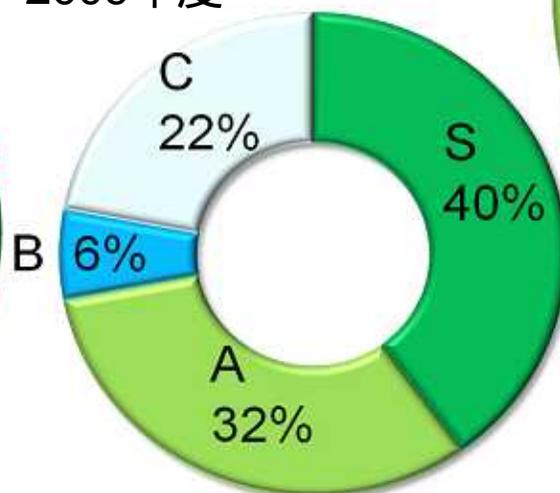


合計点 (最大43点)	調達ランク
34点以上	S
26点以上、34点未満	A
17点以上、26点未満	B
調達指針①④が評価できない、もしくは17点未満	C

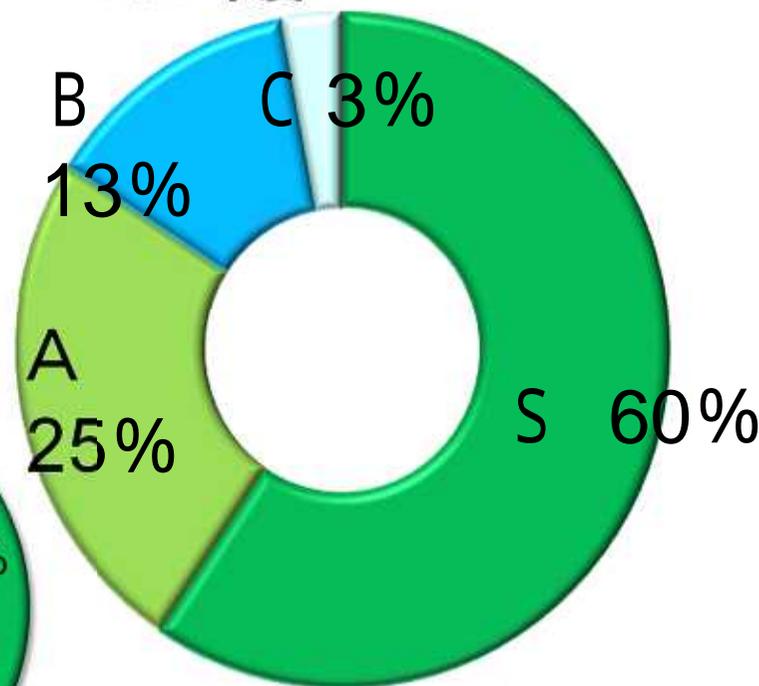
2006年度



2009年度

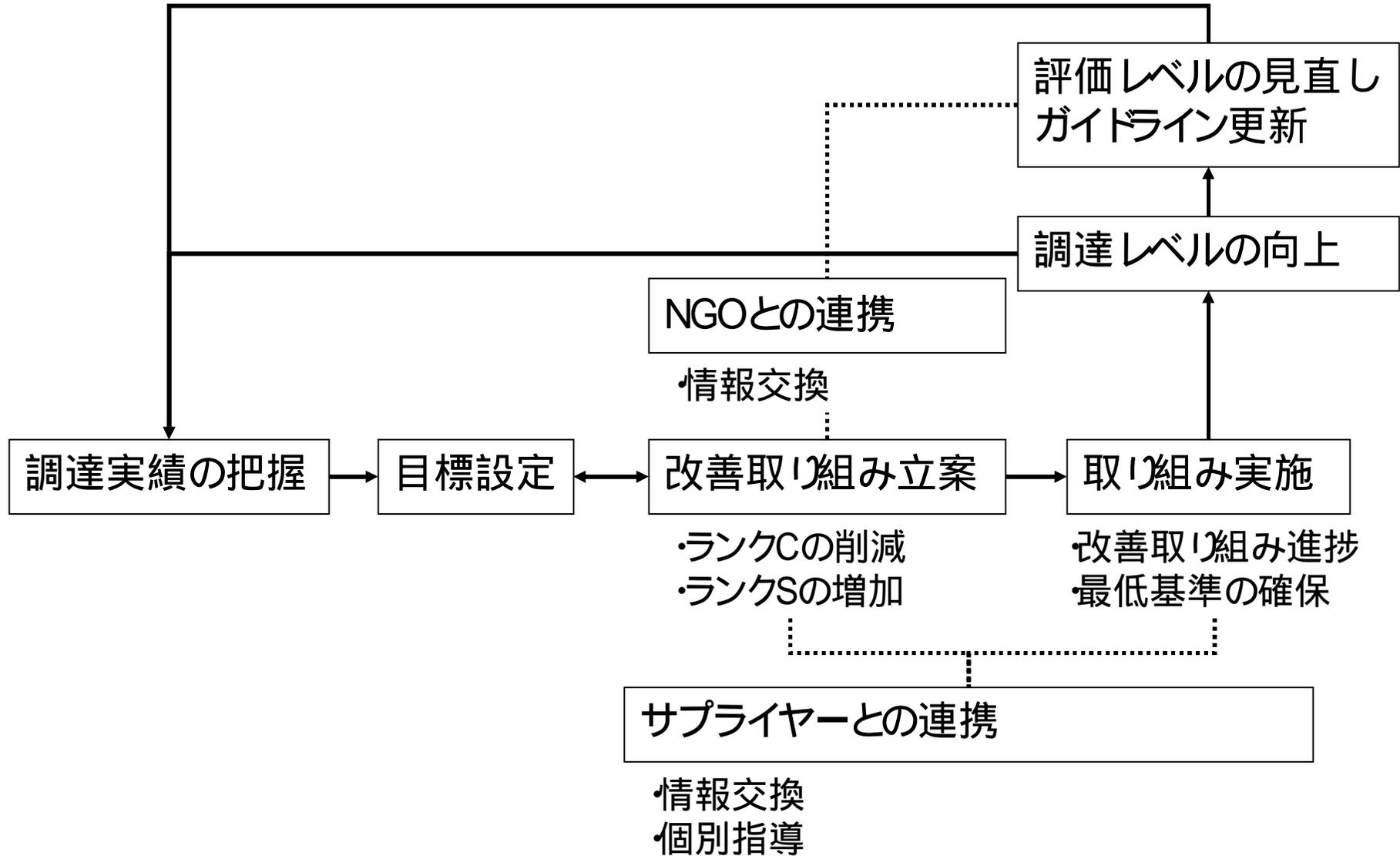


2011年度



→ サプライヤーからの自発的な提案や
調達木材の評価依頼が増加

木材調達レベルの向上 (PDCA)



サプライヤー様の反応について



一例をご紹介しますと...

絶滅危惧リスクが高く、調達レベルが低い
インドネシアラワンフロア材の改善

フロア材メーカー A社
認証取得のラワン材へ切り替え
... リスクを**森林認証**により回避

フロア材メーカー B社
ユーカリ材 (植林) へ切り替え
... リスクを**樹種変更**により回避



... N P O との間 に立って コンサル 的 な 関与 も

サプライヤー様の反応について

選択肢の拡大... 「アグロフォレストリー」という対策も

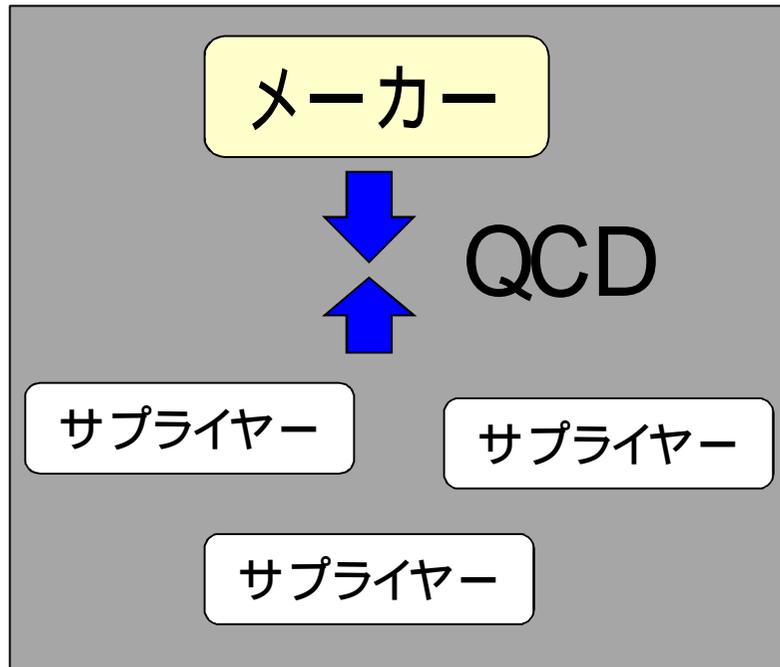


当社起点でサプライヤーへ波及効が生み出せれば...

サプライヤーとの関係... 競争」から「協創」へ

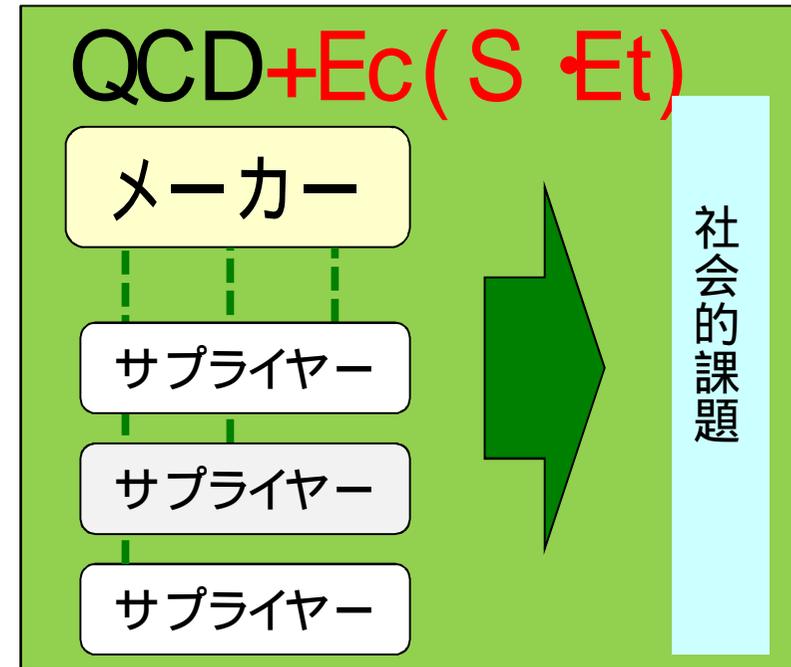


折衝・対立 軸から



Quality (品質)
Cost (価格)
Delivery (納期)

コンサル的役割へ



Ecology (環境)
< Social (社会) >
< Ethical (倫理) >

平成21年度 環境経営大賞 (第8回)

環境価値創造部門」

...最優秀の「パール大賞」を
頂きました。



持続可能な木材利用を可能にするために策定した当社独自の「木材調達ガイドライン」に基づき、社会的に公正で環境に配慮した木材「フェアウッド」の調達を推進する取り組みが高く評価されたものです。

ご清聴ありがとうございました



積水ハウス(株) 環境推進部 佐々木
m-sasaki@ga.sekisuihouse.co.jp

5本の樹
野鳥ケータイ図鑑

商標登録申請中

<http://5honnoki.jp>

